

---

# 2018年3月期決算(IFRS)説明会資料

## —2019年3月期業績予想/中期経営戦略進捗状況—

2018/4/24

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

執行役社長 宮崎 正啓

執行役専務 宇野 俊一

## 2018年3月期決算(IFRS)説明会資料 —2019年3月期業績予想/中期経営戦略進捗状況—

1. 2018年3月期業績ハイライト
2. 2019年3月期業績予想
3. セグメント別業績予想
4. 中期経営戦略進捗状況
5. 補足資料



# 1. 2018年3月期業績ハイライト

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e):2018年1月公表値

# 2018年3月期業績(ハイライト)

(億円)	18/3実績	前期比		前回予想比(e)	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	6,877	+431	+7%	△23	△0%
調整後営業利益*1	555	△18	△3%	+45	+9%
EBIT*2	552	+16	+3%	+32	+6%
税引前利益	556	+17	+3%	+36	+7%
当期利益*3	409	+7	+2%	+19	+5%
一株利益	297円27銭	+5円19銭		+13円69銭	
一株配当	85円00銭	+5円00銭		+5円00銭	
ROE	10.9%	△0.9%		+0.5%	
FCF	+162	△154		+128	

・実績レート:  
1USD=111円  
1EUR=130円

\*1 調整後営業利益:売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標  
\*2 EBIT(Earnings Before Interest and Taxes):税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値  
\*3 当期利益:親会社株主に帰属する当期利益

# 2018年3月期業績(セグメント別)

(億円)	18/3 実績		17/3 実績		前期比		18/3 予想 <sup>(e)</sup>	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
科学・医用 システム	1,881	227	1,861	271	+1%	△44	1,880	224
電子デバイス システム	1,357	317	1,245	270	+9%	+46	1,355	303
産業 システム	765	10	789	22	△3%	△12	765	9
先端産業 部材	2,943	37	2,629	22	+12%	+15	2,950	37
<b>全社合計</b>	<b>6,877</b>	<b>552</b>	<b>6,445</b>	<b>536</b>	<b>+7%</b>	<b>+16</b>	<b>6,900</b>	<b>520</b>

\* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

\* 2018年3月期より事業区分の変更に伴い「産業システム」に含まれていた一部製品を「先端産業部材」に移管しております。  
2017年3月期はリステート後の数値となります。

## 売上収益・EBIT 偏差説明 (2017年3月期比較)

売上収益 ( 6,445億円 → 6,877億円 +431億円 )

- 電子デバイスシステム： メモリー量産投資向けに測長SEMの販売が好調に推移し  
112億円増収
- 先端産業部材： 素材関連取引の増加や半導体関連部材の販売が好調に推移し  
314億円増収

EBIT ( 536億円 → 552億円 +16億円 )

- 科学・医用システム： 医用分析装置での顧客とのサプライチェーンにおける  
在庫調整の影響および成長戦略投資により44億円減益
- 電子デバイスシステム： 売上収益と同様の理由により46億円増益
- 先端産業部材： 売上収益と同様の理由により15億円増益

# 2018年3月期業績(財政状態計算書[要約])

2018年3月末 (億円)

		17/3末比			17/3末比	
<b>流動資産</b>		<b>4,955</b>	<b>+224</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,055</b>	<b>+68</b>
現金および現金同等物	1,924	+26	営業債務	1,321	+107	
営業債権	1,593	+128	その他	734	△39	
棚卸資産	1,165	+157	<b>非流動負債</b>		<b>273</b>	<b>△45</b>
その他	273	△87	退職給付に係る負債	232	△29	
<b>非流動資産</b>		<b>1,278</b>	<b>+132</b>	その他	41	△16
有形固定資産	738	+30	<b>資本</b>		<b>3,905</b>	<b>+333</b>
無形資産	170	+91	親会社株主持分	3,901	+332	
その他	370	+12	非支配持分	4	+1	
<b>資産合計</b>		<b>6,233</b>	<b>+356</b>	<b>負債および資本合計</b>	<b>6,233</b>	<b>+356</b>

・一株当たり親会社株主持分 2,836円26銭(17/3末比 +241円08銭)

・親会社株主持分比率:62.6%

# 2018年3月期業績(キャッシュ・フロー計算書〔要約〕)

(億円)	18/3		18/3
営業活動に関するキャッシュ・フロー	+292	財務活動に関するキャッシュ・フロー	△127
当期利益	+411	配当金の支払	△117
減価償却費	+118	その他	△10
運転資金	△143	換算差額	△9
法人所得税支払および還付	△237		
その他	+143		
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△130		
有価証券および その他の金融資産の取得・売却	△11		
有形固定資産および 無形資産の取得・売却	△140		
その他	+22		
フリー・キャッシュ・フロー	+162		
			18/3
		現金および現金同等物	
		期首残高	+1,898
		増減額	+26
		期末残高	+1,924





## 2. 2019年3月期業績予想

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e1):2018年4月公表値

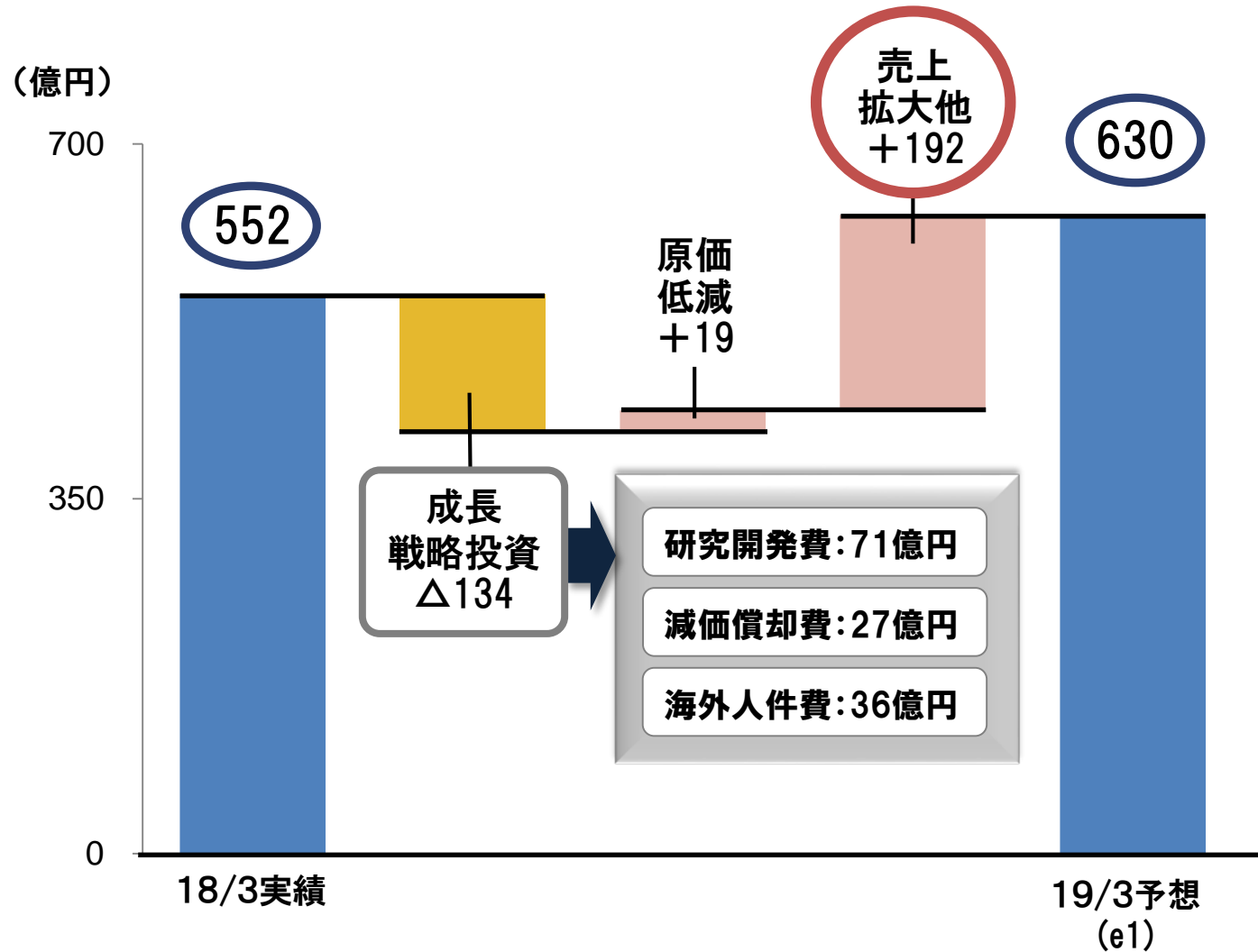
# 2019年3月期業績予想(ハイライト)

(億円)	19/3予想 <sup>(e1)</sup>	18/3実績	前期比	
			増減額	増減率
売上収益	7,800	6,877	+923	+13%
調整後営業利益 <sup>*1</sup>	630	555	+75	+13%
EBIT <sup>*2</sup>	630	552	+78	+14%
税引前利益	630	556	+74	+13%
当期利益 <sup>*3</sup>	450	409	+41	+10%
一株利益	327円21銭	297円27銭	+29円94銭	
一株配当	95円00銭	85円00銭	+10円00銭	
ROE	11.1%	10.9%	+0.1%	
FCF	+32	+162	△130	

・想定レート:  
1USD=105円  
1EUR=130円

\*1 調整後営業利益:売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標  
\*2 EBIT(Earnings Before Interest and Taxes):税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値  
\*3 当期利益:親会社株主に帰属する当期利益

# 2019年3月期業績予想(前期比増減要因:EBIT)



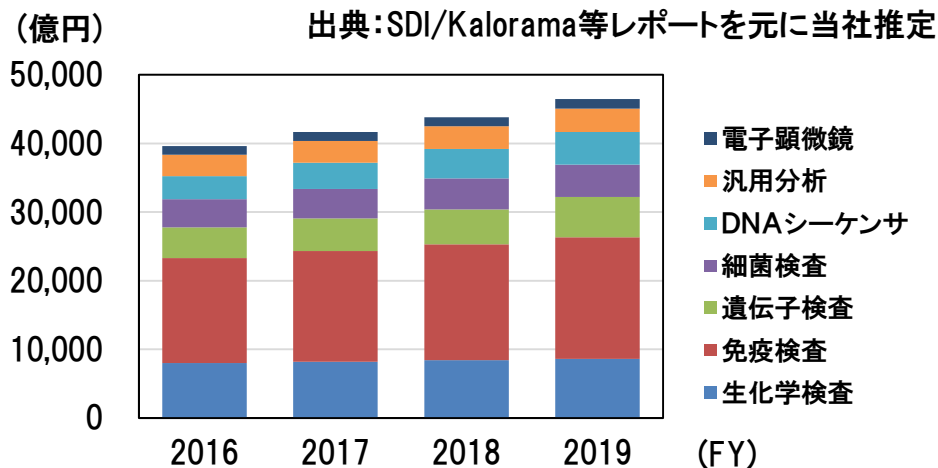
## 科学・医用システム

- バイオ・メディカル事業
  - 生化学検査市場は成熟、免疫・遺伝子・細菌検査市場は拡大
  - 医療費削減圧力により市場価格が低下
- 科学システム事業
  - 二次電池、半導体、RoHS規制関連の需要が増加し、投資も活況

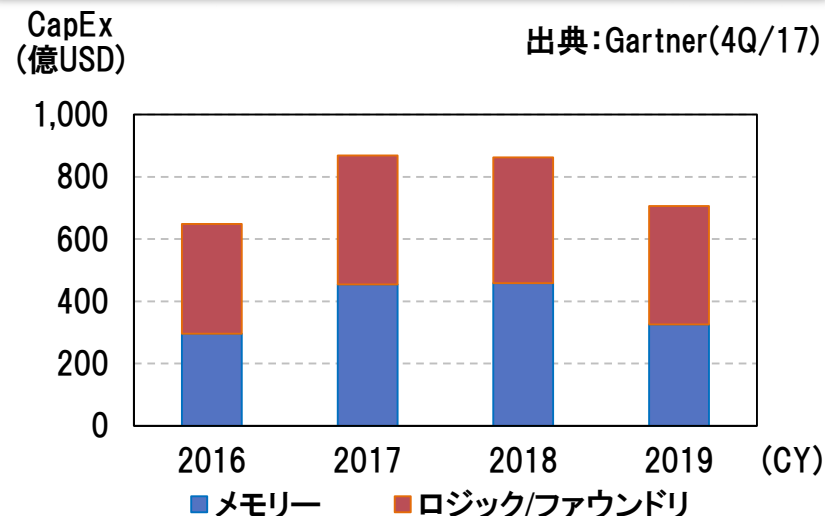
## 電子デバイスシステム

- 2018年度の半導体製造装置市場は、昨年度に引き続き活況
- メモリーはDRAM・3D-NANDともに積極投資継続
- ロジック/ファウンドリは10-7nmの量産投資および7-5nm向け開発投資を継続

### 科学・医用システム製品別市場規模(試薬含む)



### 半導体設備投資動向





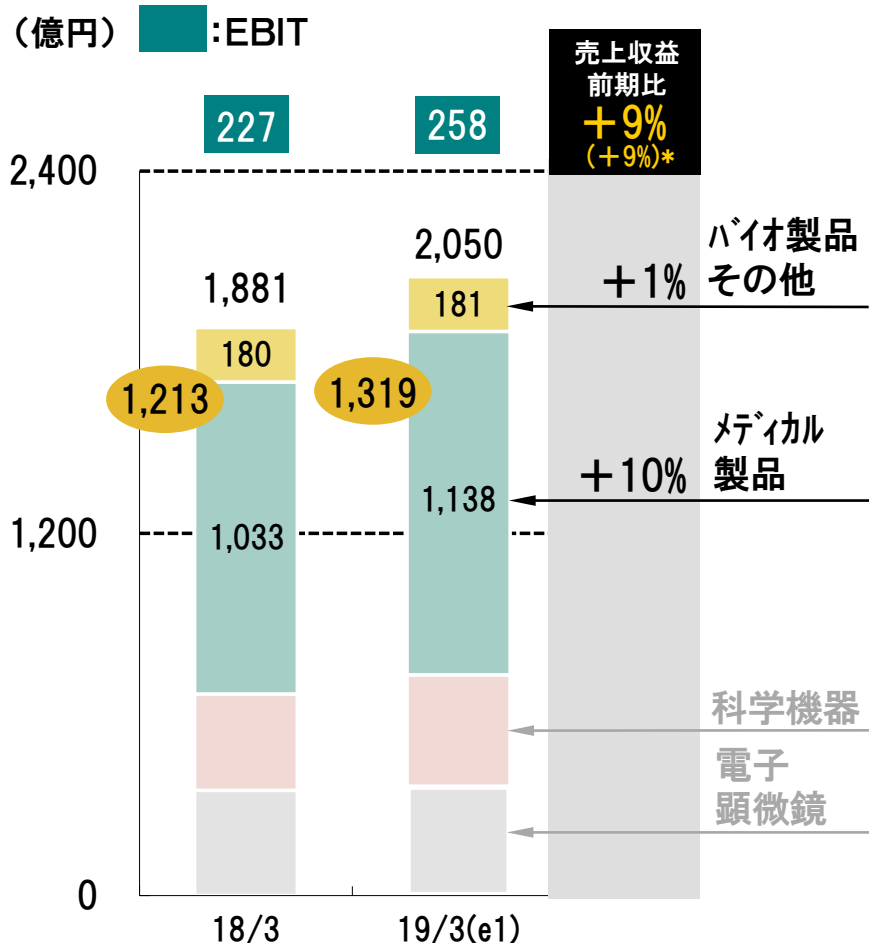
### 3. セグメント別業績予想

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e1):2018年4月公表値

## 事業ビジョン

全ての体外診断市場におけるグローバルプレーヤーになる

### 売上収益・EBITの推移



\*バイオ・メディカル事業の前期比

### 2018年度の具体的な取り組み

#### ■ 新高速免疫分析装置「cobas e801」の拡販継続

生化学・免疫統合型自動分析装置  
「cobas8000」用  
免疫処理モジュール「e801」



#### ■ 新複合型分析装置「3500」拡販による新市場開拓

#### ■ バイオ分野向け新製品の販売立上げ

- ・ 小型CEシーケンサ / 遺伝子検査装置 他

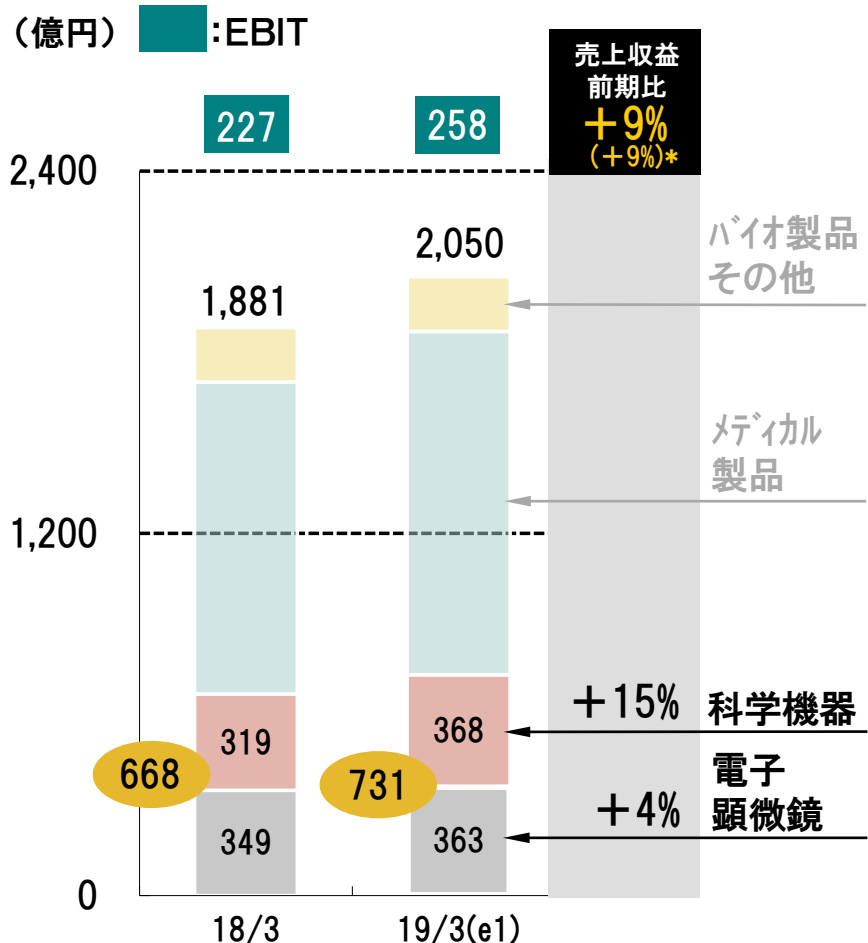
#### ■ 高精度がん診断分野における新規事業の開拓

- ・ 米国 MagArray社 / OmniSeq社との協業

## 事業ビジョン

## 科学機器のグローバルメジャープレイヤーをめざす

### 売上収益・EBITの推移



\* 科学システム事業の前期比

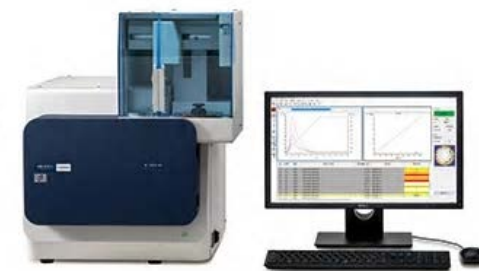
### 2018年度の具体的な取り組み

- 新FIB-SEM複合装置「Ethos NX5000」の拡販
- 高付加価値TSS\*(専用機)の開発・拡販
  - ・ 二次電池検査用装置 (蛍光X線異物解析装置、SEM 等)
  - ・ RoHS II 対応向け新製品「HM1000」
- グローバル展開の加速
  - ・ グループシナジー最大化による販売力強化
  - ・ 日立ハイテクサイエンスパーク活用による顧客協創推進

\*TSS: Targeted Solution Systems



高性能FIB-SEM複合装置  
「Ethos NX5000」

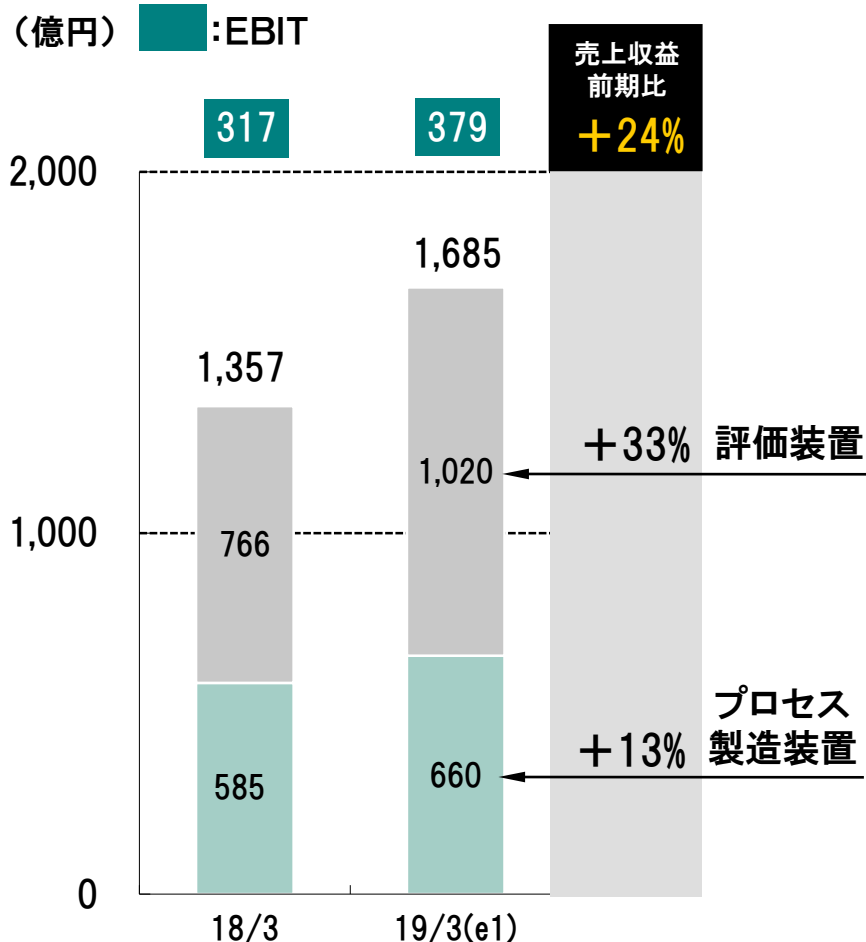


フタル酸エステル類検査装置  
「HM1000」

## 事業ビジョン

新たな価値をお客様と共に追求し、創造する

### 売上収益・EBITの推移



### 2018年度の具体的な取り組み

- 多様化するニーズに対応する製品ポートフォリオ強化
  - ・積極的な研究開発投資の実施(2017年度比:+29%)
  - ・アーリーコラボレーションによる顧客との協創深化
  - ・プロセス/評価装置連携によるソリューション提供
- 高効率生産体制の確立
  - ・モジュール組立方式と自動化による生産効率向上
  - ・生産設備増強および生産エリア拡張

新開発「エンハンス版マイクロ波ECR  
エッチングモジュール」



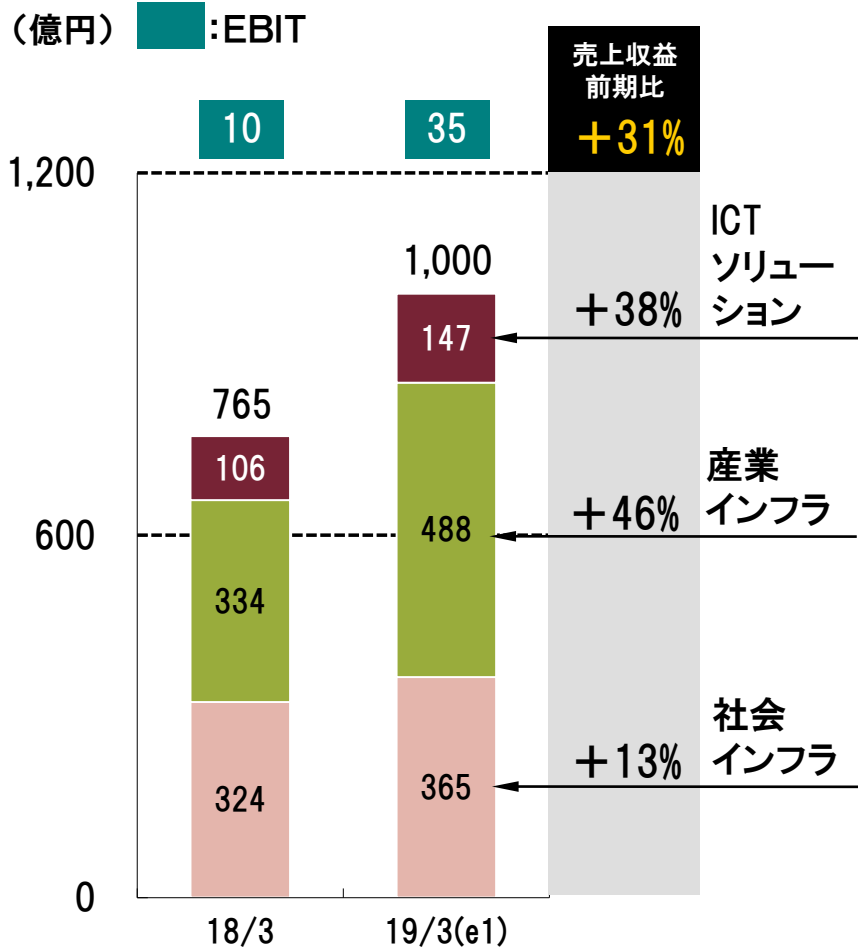
コンダクター  
エッチング装置  
9000シリーズ



## 事業ビジョン

## 産業分野のオンリーワン・ソリューションプロバイダーになる

### 売上収益・EBITの推移



### 2018年度の具体的な取り組み

#### 社会インフラ

##### 鉄道検測

- ・JRグループに加え公民鉄へ展開

##### 計装

- ・計装制御とビッグデータ解析による高度運転支援の推進

#### 産業インフラ

##### 自動組立

- ・LiB\* 製造への高機能製品拡販

##### 薄膜

- ・システム製品提供による最適ソリューションの実現

#### ICTソリューション

##### IoT

- ・「OT」×「AI」による製造業の経営課題解決

\*LiB:リチウムイオン電池



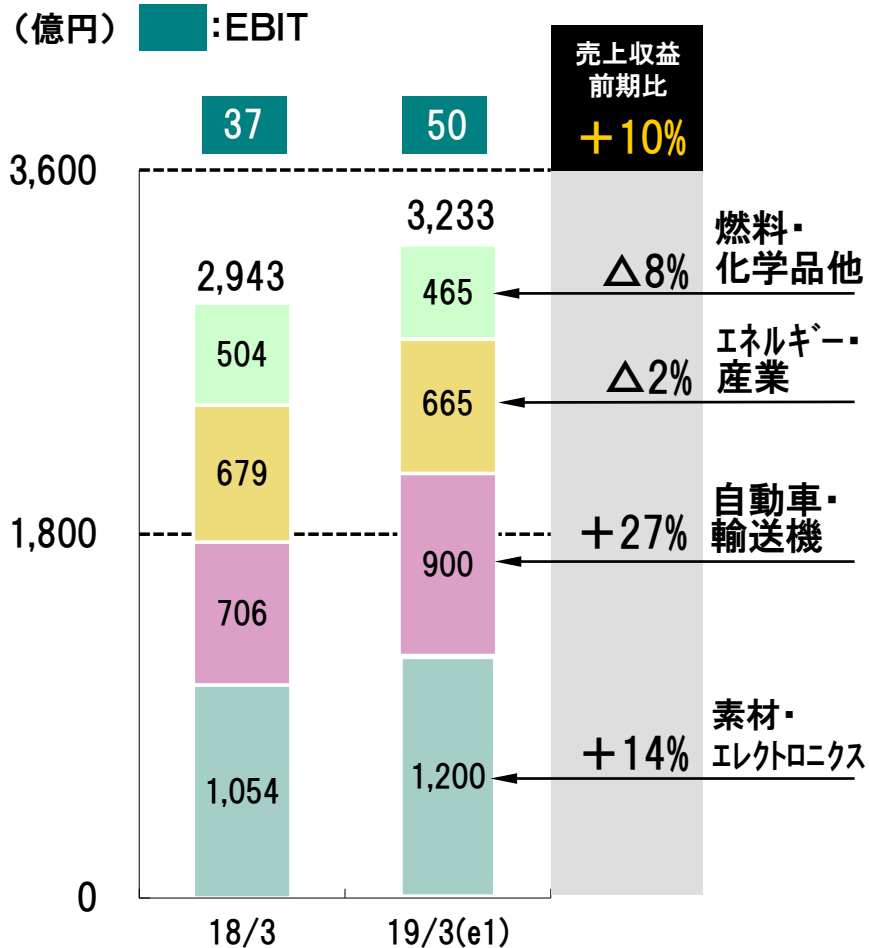
総合計装システム



予兆・診断システム

## 事業ビジョン 製造業向けFVC\*を商材としたビジネスオーガナイザーをめざす

### 売上収益・EBITの推移



### 2018年度の具体的な取り組み

#### ターゲットドメインの明確化と顧客志向型組織への移行

- 鉄道関連事業**  
 海外パートナー企業との連携によるFVCサービス拡大
  - ・パーツ補修事業(英国)推進
  - ・中国内装メーカーとの協業開始
- シェア工場サービス(タイにて事業開始)**  
 日系メーカーの海外進出に対し生産拠点・設備・インフラ・管理サービスを提供
- 金型管理サービス**  
 現物確認から保管・買取までのワンストップサービスを提供



\*FVC : Full Value Chain



## 4. 中期経営戦略進捗状況

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e1):2018年4月公表値

## 売上収益

市場の伸びを上回る成長の実現

事業ごとの売上収益CAGR > 市場成長率

2015～2018年度 (CAGR)	市場	日立ハイテク 予想 <sup>(e1)</sup>
生化学・免疫検査	*1 4%	3%
科学機器	4%	7%
半導体前工程装置	*2 13%	18%

\*1 装置・試薬合計 \*2 CY

## サービス比率

EBITに占めるサービス事業\*の割合  
50%以上を維持

17/3 実績	18/3 実績	19/3 予想 <sup>(e1)</sup>
57%	54%	48%

## 収益性

### Instruments

EBITマージン率10%以上を維持

17/3 実績	18/3 実績	19/3 予想 <sup>(e1)</sup>
13%	13%	14%

### Materials

EBIT絶対額50億円以上を実現  
(2018年度)

17/3 実績	18/3 実績	19/3 予想 <sup>(e1)</sup>
23億円	37億円	50億円

引き続き成長戦略を実行し、  
全KPIの達成をめざす

投資規模

800億円

バイオ・メディカル事業を中心に増額(2013~15年度比 30%増)

17/3 実績

236億円

18/3 実績

267億円

19/3 予想<sup>(e1)</sup>

338億円



累計<sup>(e1)</sup>

841億円

## 科学・医用システム

既存事業強化と新たな柱事業の創出、  
高付加価値専用機の開発

- ・次期中・小型医用分析装置
- ・次世代シーケンサ
- ・質量分析の医用分野への応用
- ・電子顕微鏡関連自動化技術

## 電子デバイスシステム

製品ポートフォリオ拡充と新ニーズへの対応

- ・3次元構造・新材料対応装置
- ・車載・IoT向け装置

投資規模

400億円

- デモ設備等の拡張による顧客とのコラボレーションの深化
- 事業を支える製造能力の拡充と生産技術力の強化

17/3 実績

144億円

18/3 実績

157億円

19/3 予想<sup>(e1)</sup>

238億円



累計<sup>(e1)</sup>

539億円

## 科学・医用システム

日立ハイテクサイエンスパーク  
(科学機器のデモンストレーション・  
開発拠点)

- ・米国に加え、英国・中国に新設
- ・世界5カ国9ヶ所でのグローバル体制構築

## 電子デバイスシステム

PEC\*1・PICT\*2での  
現地開発機能強化

- ・測長SEM/エッチング装置の連携によるソリューション開発

中国の顧客サポート体制強化

コラボ  
レーションの  
深化

製造能力  
の強化

増産対応＋自動化・ロボット化・IoT化の積極推進

\*1 PEC : Process Engineering Center \*2 PICT : Process Innovation Center Taiwan

投資規模

300億円

バイオ・ヘルスケア

社会・産業  
インフラ



手持ち資金活用による  
さらなる事業投資

投資領域

- ・遺伝子・細菌検査:がん・感染症診断向けの装置・試薬・ソフトウェア
- ・電子顕微鏡・科学機器:技術、販路強化

科学・医用システム	投資規模	投資案件
バイオ・ メディカル 事業	2016年9月	合弁会社資本金 :1,962万人民币元
	2017年5月	9億円
	2017年9月	24億円
	2018年3月	非開示
科学 システム 事業	2017年7月	113億円

\* IVD(In-Vitro Diagnostics): 体外診断

今後もさらなる成長実現に向けて、積極的な投資を継続・推進

多様な感性や  
価値観の尊重

多様な考え・発想で  
イノベーション創出

創造性・革新性  
ある価値を提供

競争優位  
の源泉

働き方改革

女性活躍推進

組織の活性化  
生産性向上

在宅勤務

サテライト  
オフィス

コアタイム  
廃止

時間単位  
年休

オフィス  
改革

主要  
KPI

時間外  
労働  
平均20時間  
以下  
(人・月)

有給休暇  
行使  
20日  
以上  
(人・年)

管理職  
女性比率  
5%



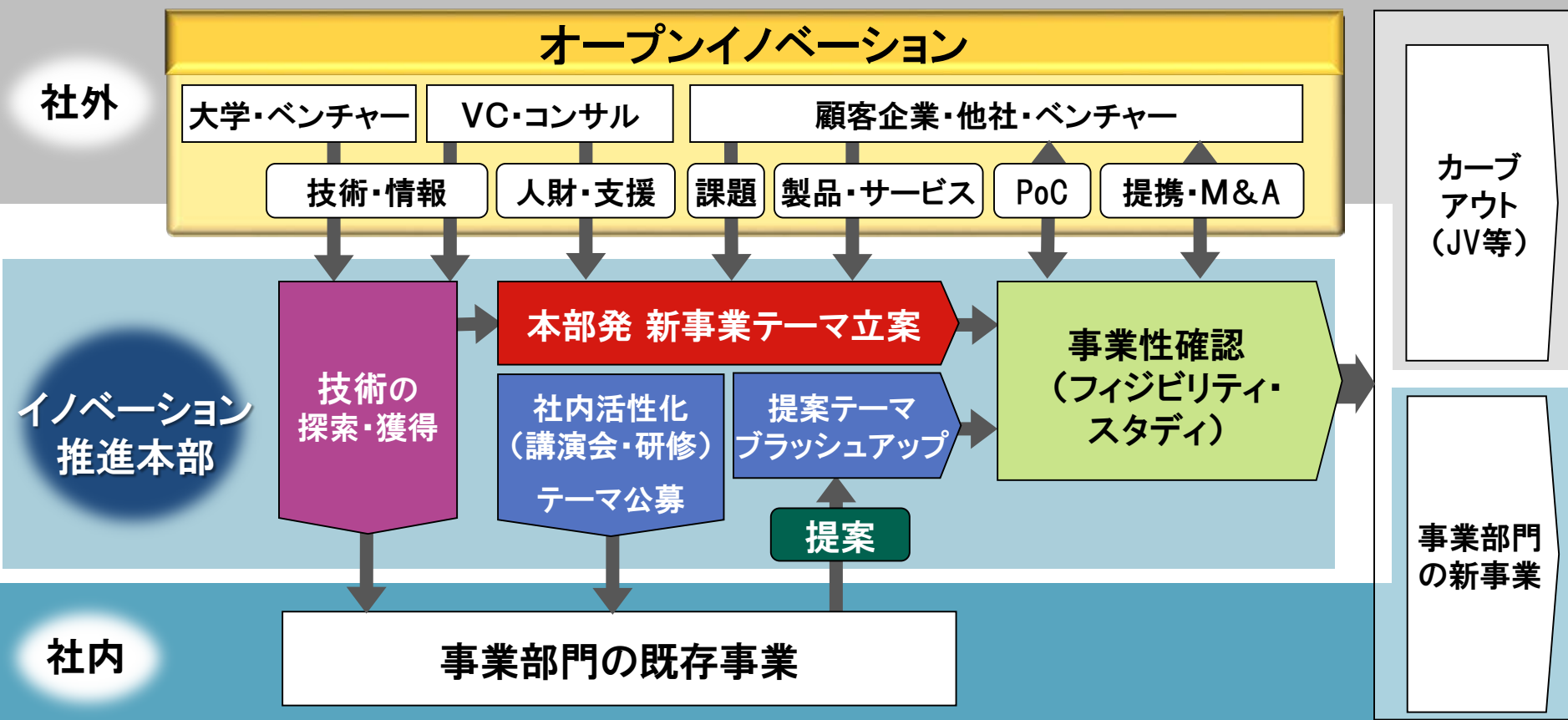
「えるぼし」3段階認定取得  
(2017年11月)



なでしこ銘柄  
2年連続選定



## さまざまな「オープンイノベーション」の活用により 「新事業の創生」と「既存事業の革新」を推進



「IoTサービス事業向けポータル:ExTOPE」開発  
(2017年8月)

株式会社NeU設立  
(2017年8月)

# 中期経営戦略進捗状況(まとめ)

			17/3 実績	18/3 実績	19/3 予想 <sup>(e1)</sup>
収益性	Instruments	EBITマージン率 10%以上を維持	13%	13%	14%
	Materials	EBIT絶対額50億円以上を 実現(2018年度)	23億円	37億円	50億円
サービス 比率	EBITに占めるサービス事業の割合 50%以上を維持		57%	54%	48%
研究 開発	800億円*	バイオ・メディカル事業を 中心に増額	236億円	267億円	338億円
設備 投資	400億円*	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業を支える製造能力の 拡充と生産技術力の強化</li> <li>● デモ設備等の拡張による 顧客とのコラボレーション の深化</li> </ul>	144億円	157億円	238億円
株主 還元	配当性向30%をめざし、安定配当を維持		27.4%	28.6%	29.0%

\*2016～2018年度累計投資規模

---

## 5. 補足資料

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e1):2018年4月公表値

# 2019年3月期業績予想(セグメント別)

(億円)	19/3 予想(e1)		18/3 実績		前期比	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
科学・医用 システム	2,050	258	1,881	227	+9%	+31
電子デバイス システム	1,685	379	1,357	317	+24%	+62
産業 システム	1,000	35	765	10	+31%	+26
先端産業 部材	3,233	50	2,943	37	+10%	+12
<b>全社合計</b>	<b>7,800</b>	<b>630</b>	<b>6,877</b>	<b>552</b>	<b>+13%</b>	<b>+78</b>

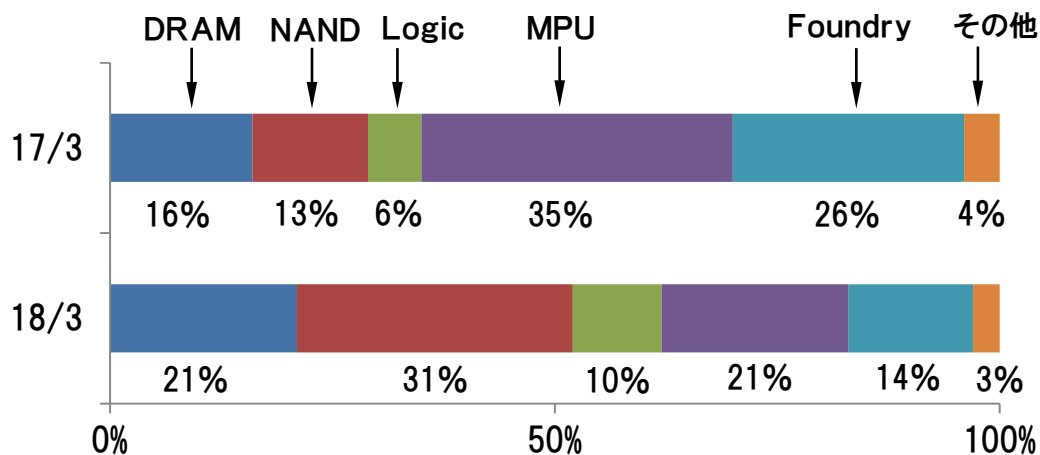
\* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

## 受注高推移（実績）

		1Q	2Q	3Q	4Q	合計	(億円)
17/3	プロセス製造装置	139	160	94	187	579	
	評価装置	195	149	163	184	691	
	合計	334	309	256	371	1,271	
18/3	プロセス製造装置	91	109	185	206	591	
	評価装置	217	128	200	378	923	
	合計	308	237	385	584	1,514	

## 前工程装置 分野別売上収益比率（実績）

\* 装置本体売上ベース



## ■設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	17/3	18/3	前期比	19/3(e1)	前期比
設備投資額	144	157	+9%	238	+51%
減価償却費	105	118	+12%	145	+22%
研究開発費	236	267	+13%	338	+27%

\*設備投資額は取得ベースにて記載

## ■地域別売上収益

(億円)

		日本	北米	欧州	アジア	中国大陸	その他	計
17/3	売上収益	2,498	546	878	2,274	841	249	6,445
	構成比率	39%	8%	14%	35%	13%	4%	100%
18/3	売上収益	2,671	537	835	2,565	889	269	6,877
	構成比率	39%	8%	12%	37%	13%	4%	100%

(億円)		17年 1Q	17年 2Q	17年 3Q	17年 4Q	
売上収益 / EBIT	科学・医用システム	売上収益	397	478	424	581
		EBIT	45	52	52	77
	電子デバイスシステム	売上収益	381	321	281	374
		EBIT	114	64	54	84
	産業システム	売上収益	152	185	159	268
		EBIT	△9	0	△0	19
	先端産業部材	売上収益	729	746	751	718
		EBIT	11	8	13	5
	その他・調整額	売上収益	△17	△17	△13	△22
		EBIT	△5	△9	△4	△20
	合計	売上収益	1,642	1,714	1,602	1,919
		EBIT	156	115	116	165
	税引前利益		157	116	117	167
	親会社株主に帰属する当期利益		117	85	90	117

# 主要製品群別売上収益の状況

(億円)	17年1Q	17年2Q	17年3Q	17年4Q	18/3
<b>科学・医用システム</b>	397	478	424	581	1,881
電子顕微鏡	70	88	68	124	349
科学機器	45	84	78	112	319
メディカル製品	242	256	232	302	1,033
バイオ製品その他	40	50	45	44	180
<b>電子デバイスシステム</b>	381	321	281	374	1,357
プロセス製造装置	160	158	125	142	585
評価装置	219	161	155	230	766
その他	2	1	1	2	6
<b>産業システム *1</b>	152	185	159	268	765
社会インフラ	68	82	69	100	319
産業インフラ	61	78	66	133	340
ICTソリューション	23	26	24	35	106
<b>先端産業部材 *1</b>	729	746	751	718	2,943
工業材料	240	239	249	241	969
電子材料	231	246	238	229	944
VCS *2	139	141	144	130	554
燃料・化学品他	118	121	120	118	477

\*1 「産業システム」「先端産業部材」は、2019年3月期よりサブセグメントの区分を変更しており、2018年3月期はリステート前の数値となります。

\*2 VCS : Value Chain Solution



# 2018年3月期決算(IFRS)説明会資料 —2019年3月期業績予想/中期経営戦略進捗状況—

お問合せ先

CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部 部長 桑原 満

TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943

E-mail: [mitsuru.kuwabara.ya@hitachi-hightech.com](mailto:mitsuru.kuwabara.ya@hitachi-hightech.com)

<資料取り扱い上の注意>

- ・本プレゼンテーションで述べられている決算概要および業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- ・当社が開示する情報のうち、今後の計画、見通し、戦略などの将来予想に関する情報は、開示時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しており、リスクや不確実性を含んでおります。当社は、これらの情報を開示する場合には、将来予想に影響を与えると想定される要因を開示することとしています。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。